

木馬会会報(第15号)

天皇賞・秋特集

～木馬たちの予走(天皇賞・秋編)～

予走者 TP

休み明け緒戦はマンズリ。しかし復活の兆しの見える内容であった。今週は土日と連闘体制。一度叩いた効果を期待したい。

天皇賞・秋

◎…ビワハヤヒデ ▲…ウイニングチケット

△…マチカネタンホイザ、サクラチトセオー、ネーハイシーザー

…予走者の屁理屈…

出走回避馬の続出で、13頭立てという寂しいレースになってしまった今年の天皇賞秋。Sペースならビワが負けるわけではなく、この頭数なら例えばHペースになってもビワ岡部は“勝手にやれば”と静観できる。もっと多ければ一昨年のトウカイテイオーのようなこともあるかとは思えたが、この頭数なら絶対に2着は外さない。勝てるとしたらやはりWチケットのみ。Sチトセオーはすでに一流の差し脚を身につけてはいるが、力強さがなく、格負けする。そしてコケる可能性があるのもまたWチケット。そのときの連穴が上記の3頭。特にタンホイザは善臣の“秋になってバネが壊れた”という言葉信じよう。ノーザンテースト産駒でまだまだ成長するはず。極端なレースをし内をスルスル上がってくる姿が目につく。6～8番人気で狙いも十分。Wチケットがコケればマイシンザンやフジヤマケンザン辺りも怖い。そこまでは手を広げられない。正直いって◎▲で決まる可能性は50%と見ているので、◎△の組み合わせの倍率がつまらなければ(6倍以下)、買うつもりはない。あえて穴を狙う気にもなれない。

スワンS

◎…サクラバクシンオー ○…ビコーペガサス ▲…エイシンワシントン

△…キョウエイキーマン、ニホンピロプリンス、ムッシュケル

…予走者の屁理屈…

ノースフライトが回避という前提で上の予想。Sバクシンオーが格の違いを見せるだろう。この馬、もしかしたら史上最強のスプリンターかもしれない。先行できるし、不利も受けにくい。このところ長い距離を使っているのでこの距離も問題ない。レコード勝ち、まず堅いだろう。相手は、一息入れたBペガサス。この休養は必ず吉と出るはず。あとは成長著しいEワシントン。連穴は、こういう多頭数ではキャリアが物を言うと考えて上記の3頭。結構おもしろいレースになるだろう。

今週の注目レース!は日曜日のいちょうS。去年はやらなかったが、一昨年のライブハウス、一昨年度のサンエイサンキュー(僕が最初に愛した牝馬でした。冥福を祈ります)と狙い撃ちしてきた縁起の良いレース。今年の狙いは関東のフジキセキと評価しているアサクサゴーフル。ここはヤマニンパラダイス、ヒシワールドが人気を集めて3番人気になるだろう。スキーキャプテンまで出れば4番人気は確実。確かにこれら外国産馬もかなりの能力の持ち主であるが、ヒシ、ヤマニンは楽なレースをし過ぎ。スキーは極端すぎる。この3頭で堅い

とはいえないと思う。で、ゴーフル軸で、消せるのがサンエイゴージャス、マイネアンジェラス、レイクチェイサーのみ。あとは全部に流す。とにかくこのレースは注目馬が多く、当たる当たらないに限らず注目のレースであることに変わりはない。

今週の一頭は、土曜のメインのエアリアル。相手は、エクセレンスロビンやマチカネアレグロといった人気所より、トキノスピカ、メイショウレグナム、ホウザンゴールドといった人気うすのほう面白いだろう。

予走者 トウインクルダンディ

天皇賞・秋

◎…サクラチトセオー ○…ウイニングチケット ▲…ナイスネイチャ

…予走者の屁理屈…

私はこの時期になるとかならず91年を思い出す。皆さんも「あれか」と思われるだろうが、そうメジロマックイーン以降の降着である。その時プレクラスニーとの枠連に当時多額の出資をしていた私は天国から地獄に落ちた気分だった。(ちなみに私は前週の最終レースでもモガミデドンが降着になり2週連続降着体験の情けない人間の一人になってしまった。)というわけで一応直線勝負と見て切れ味上位の2頭を◎○にすることにした。先週のシャコーグレイドのように外から豪快に伸びてくることを期待している。ところで皆さん、今度の土曜日で長かったトウインクルレースもちょっとお休みです。私も来週からは中央に復帰というかちょっと本格的に参加する予定ですのでもいい情報を教えてください。

予想者 ミスターX

天皇賞

◎…セキテイリュウオー ○…ビワハヤヒデ ▲…サクラチトセオー

△…ウイニングチケット △…ナイスネイチャ

…予想者の屁理屈…

上記の予想はともかくミスターXのごろあわせ講座を開設いたします。

今回の天皇賞は迎えて110回目の開催となります。そこで注目したいのが単穴候補のサクラチトセオー。なぜならば110つまり警察の電話番号、警察の・・・マークと言えはサクラそして更に強調すべき事柄と言えは、110(100*10)=1000これを漢字に直すと「千」つまり、サクラ「千歳」皇となるわけでビワを外して購入したい方は、これに110つまり「伊藤」ウイニングチケット、マチカネタンホイザを絡めて3点勝負も良いのでは・・・。

天皇笑

◎…サクラチトセオー ○…ネーハイシーザー ▲…ウイニングチケット

△…マイシンザン

…予想者の屁理屈…

やはり、穴党は、ビワを追いかけてはいけない。この天皇賞の大舞台こそ、ビワが敗れるのにふさわしいステージである。では、ビワを基準にビワに勝つ可能性のある馬はいるのだろうか。ほとんどは100%だめな馬ばかりだが、4頭だけ可能性のある馬がいる。◎はキレ味豊かなマイルのレコードホルダー サクラチトセオー。○に地力強化し、毎日王冠をレコード勝ちした ネーハイシーザー。▲は東京コース得意、あん上強化した ウイニングチケット。そして△に無限の可能性を秘める血統馬 マイシンザンだ。

なんせビワは東京コースに勝ちくらがない。ビワの連帯記録は、この日でヒシアマゾンに引き継がれることになろう。◎から3点で勝負だ。

スワン S (G II)

◎…フジノマッケンオー ○…ゴールドマウンテン、ニホンピロプリンス

△…エイシンワシントン、サクラバクシンオー

やはり、人気になるサクラバクシンオーには魅力はない。ということで、本命はフジノマッケンオー。菊を諦め、マイル路線を選んだところに期待。対抗は、ゴールドマウンテン、ニホンピロプリンス。エイシンワシントンとサクラバクシンオーは押さえまで。

*ノースフライトが出走した場合は、予想はし直すのであしからず。

僕は、競馬というものを始めてからまだ6年程しか経っていないが、こんなにかっこよくて、こんなに素敵で、こんなにしなやかでバネのある素晴らしい走りをする馬を見たことがなかった。その馬がついに引退してしまった。そう、トウカイテイオーである。皐月賞、ダービー、ジャパンカップ、有馬記念とG Iを4勝し、負けたのは、春・秋の天皇賞、有馬記念であった。僕は勝った4レースと負けた3レースを、中山・府中・京都と全て競馬場で目の前で見て歓声を送った。全部印象に残っているが、その中で1番強いと感じたのは、後の菊花賞馬レオダーバン以下を全くよせつけずに圧勝した日本ダービーであり、1番いろんな意味で印象に残っているのが春の天皇賞である。史上最強のステイヤー・メジロマックイーンにさえも1番人気を譲らなかったあの天皇賞は、結果としては骨折があったものの、マックには完敗したのだが、あんなにレース前に興奮し（もちろん1週間前から）、もう楽しみで楽しみでしょうがなかったレースは後にも先にもあのレースしかない。おそらくこんな気持ちになれるレースにはしばらくお目にかかれないうだろう。トウカイテイオーが僕に本当の競馬のおもしろさというものを教えてくれたといっても決して過言ではない。もうあの弾むような歩き・走りを見られないのは残念なことだが、テイオーに感謝しつつ4年後に出てく

る2世に期待したいと思う。あと、できれば最後の引退式で田原ではなく安田隆行に乗ってもらいたかった。調教師という立場では無理なのだろうか。あの馬は安田の馬で安田が一番似合うとそんな気がしている。それにしてもかっこ良かったなテイオーという馬は。いつまでも決して忘れることのない馬だろう。

天皇賞

◎…マチカネタンホイザ ○…ビワハヤヒデ ▲…フジヤマケンザン

△…ウイニングチケット △…マイシンザン

…予想者の屁理屈…

ビワハヤヒデは別にして、今回の天皇賞のキーを握るのは間違いなく毎日王冠だ。その毎日王冠で驚異的なレコードをたたきだしたネーハイシーザーは、1ハロンの延長も気になるが、何よりも今回は常に岡部ビワハヤヒデを背中に感じながらプレッシャーをあびてこの大舞台を進まなければならない、塩村が冷静にカツ大胆に最高の騎乗ができるとは思えない。多くの人が穴の一番手と考えているマイシンザンは、前走掛かっただけの0.6差は非常に評価できるが、忘れてはならないのが気性難であり、いくら厩舎の人が今回は大丈夫だと言ってもどう転ぶかは全く分からない。1年4か月も休んでの2走目も気になる材料だし、いくら実力を秘めているといっても重い印は打てまい。そこで、毎日王冠組で一番狙い目なのが短期休み明けを叩いて上積み望める◎マチカネタンホイザと▲フジヤマケンザンだ。確かに2頭とも今までの実績からではG Iで重い印をうったり、ましてビワハヤヒデを倒せるなんてどうてい言えない。しかし、夏場の短い放牧を経て2頭とも今までとはだいぶ変わったと僕は見た。マチカネは、はっきり言って前走は調子が悪かったと見ている。調教も全然駄目だった。距離も短く、先攻有利の馬場も不利だったにもかかわらずメンバーNO.1の強烈な切れ脚を見せている。内が開いてうまくいったとか言う人がいるかもしれないが、うまくいったとしても切れたのは事実であり、1度叩いて状態もUPし、距離が延びるのも明らかに好都合だし、ここは思い切って本命に推す。“善臣、2年連続天皇賞制覇”なんて見出しが月曜には見られるかも。フジヤマは今まではオープン大将で、G IIでは2着には来てもG Iでは全く歯が立たなかった。それが前走では今までの先行パターンを捨て中段から差すという新パターンを見せたことにより、G Iレベルの相手に強い競馬をしてみせた。それも34.7という今まででは考えられないような速い切れをみせてのものだけに大変価値があろう。この馬は非常に蛭名と相性がいいみたいでその点にも期待したい。というわけで、神様仏様岡部様・善臣・蛭名と「競馬は騎手だ」がモットーの僕の『関東の3人衆』（的場を加えて4人衆）に夢を託してみたい。ちなみに人気のサクラチトセオーは小島太だから変なことをしない限り絶対にいらぬ。前走強い勝ち方をしたのは的場が乗っていたからだと言う事を決して忘れてはならない。（小島太はユタカオーやバクシンオー位のつかまっているだけで勝てるようにならずにぬけた能力がなければ無理である。）

日曜6レース いちようS…私に来年の重賞路線をにぎわすといわしめた、へなりんお勧めの3歳馬とシグナルAが出走します。強そうな関西馬が当然出てくるとは思いますが軽くあしらってくれることでしょう。期待して下さい。

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番 号
ロイス アンドロイス	メルシー ステージ	マチカネ タンホイザ	マイシン ザン	フジヤマ ケンザン	ビワハヤ ヒデ	ネーハイ シーザー	ナイス ネイチャ	セキテイ リュウオー	ステージ チャンプ	サクラチ トセオー	ウイニン グチケツ	馬 名
...	...	△	...	...	◎	△	...	...	...	△	▲	T P
...	...	...	△	...	...	○	...	...	...	◎	▲	覆面デスラー
...	...	◎	△	▲	○	...	...	...	...	...	△	へなりん
...	...	...	◎	...	△	...	△	○	...	...	▲	ミスターX
...	...	▲	...	△	○	...	...	△	...	◎	...	ラッキー
...	...	...	...	...	◎	...	▲	...	...	◎	○	トゥインクルダンディ
×	...	...	×	○	◎	...	...	△	...	○	▲	ジュワイヨクチャール
...	...	...	...	...	◎	...	...	△	...	...	...	Y O